

(様式-1)

利益相反自己申告書

日本頭頸部癌学会理事長 丹生 健一 殿

申告日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

申告者氏名(署名) _____

所属(機関・診療科)名: _____

受付番号: _____

申告者: 本人 配偶者 一親等親族

役職: 理事 委員長

誓約: 私の利益相反に関する状況は下記の通りであることに相違ありません。私の日本頭頸部癌学会の業務遂行上で妨げとなる、これ以外の利益相反状態は一切ありません。なお、本申告書の内容は、社会的・法的な要請があった場合は、公開することを承認します。

1. 企業や営利を目的とした団体(以下「企業等」と略す)の顧問職、役員、職員等の有無と報酬額 (有・無)

(1つの企業等からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)

	企業・団体名	役職(顧問職・役員・職員等)	金額区分
1			
2			

金額区分: ①100万円以上300万円未満②300万円以上500万円未満③500万円以上

2. 株の保有と、その株式から得られる利益(最近1年間の本株式による利益) (有・無)

(1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)

	企業名	持ち株数	申告時の株価(一株)	金額区分
1				
2				

金額区分: ①100万円以上300万円未満②300万円以上500万円未満③500万円以上

3. 企業等から特許権使用料として支払われた報酬 (有・無)

(1つの特許権使用料が年間100万円以上のものを記載)

	企業・団体名	特許名	金額区分
1			
2			

金額区分: ①100万円以上300万円未満②300万円以上500万円未満③500万円以上

4. 企業等より、会議の出席(発表)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当(講演料など) (有・無)

(1つの企業等からの講演料が年間合計50万円以上のものを記載)

	企業・団体名	金額区分
1		
2		

金額区分: ①50万円以上300万円未満②300万円以上500万円未満③500万円以上

5. 企業等がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料 (□有・□無)

(1つの企業等からの原稿料が年間合計 50 万円以上のものを記載)

	企業・団体名	金額区分
1		
2		

金額区分：①50 万円以上 300 万円未満②300 万円以上 500 万円未満③500 万円以上

6. 企業等が提供する研究費 (□有・□無)

(1つの臨床研究に対して支払われた総額が年間 200 万円以上, 奨学寄付金(奨励寄付金)については, 1つの企業等から, 1名の研究代表者に支払われた総額が年間 200 万円以上のものを記載)

	企業・団体名	研究費区分	金額区分
1			
2			

研究費区分：①治療, ②産学共同研究, ③受託研究, ④奨学(奨励)寄付金

金額区分：①200 万円以上 500 万円未満②500 万円以上 2,000 万円未満③2,000 万円以上

7. その他の報酬(研究とは直接無関係な, 旅行, 贈答品など) (□有・□無)

(1つの企業等から受けた報酬が年間 5 万円以上のものを記載)

	企業・団体名	報酬内容	金額区分
1			
2			

金額区分：①5 万円以上 20 万円未満②20 万円以上 50 万円未満③50 万円以上

8. 企業等から研究員等の受け入れ (□有・□無)

(企業等から研究員を受け入れている場合に記載)

	企業・団体名	受入人数	
1			
2			

9. 企業等から提供する寄付講座 (□有・□無)

(企業等からの寄付講座に所属している場合に記載)

	企業・団体名	寄付講座の名称	設置期間
1			
2			